		3A1、3A2、3B1、3B2、3H1又は3H2	120kg
金属製容器	20kg	1A1、1A2、1B1、1B2、1N1、1N2、1H1、1H2、1D、1G、4A、4B又は4N	400kg
		4C1、4C2、4D又は4H2	250kg
		4F又は4G	125kg
		4H1	60kg
		3A1、3A2、3B1、3B2、3H1又は3H2	120kg
1A1、1A2、1B1、1B2、1N1、1N2、1H1、1H2、6HA1又は6HB1			250kg
3A1、3A2、3B1、3B2、3H1又は3H2			120kg
6HG1、6HH1、6HD1、6HA2、6HB2、6HC、6HD2、6HG2又は6HH2			75kg
IMDGコード4.1.4.1の「P200」に規定されている高圧容器又は規則第8条第3項第3号に規定する高圧容器であつて、IMDGコード4.1.3.6の要件に適合するもの（火薬類、熱的不安定物質、有機過酸化物、自己反応性物質、化学反応により圧力が発生する物質及び放射性物質を除く危険物を収納する場合に限る。）			
注　1　組合せ容器を使用する場合には、内装容器はテープ等により気密に密封しなければならない。 2　追加規定の欄に掲げる記号の意義は、次に定めるとおりとする。 PP31　国連番号が1360、1397、1402（容器等級がⅠのもの）、1404、1407、1409、1410、1413、1414、1415、1418（容器等級がⅠのもの）、1419、1423、1426、1427、1428、1432、1433、1714、1870、2010、2011、2012、2013、2257、2463、2806、2813（容器等級がⅠのもの）、3208、3209、3401、3402、3403及び3404の危険物に関して、容器は気密に密封すること。ただし、固体溶融物質にあつては、この限りでない。 PP83　国連番号が2813の危険物に関しては、熱の発生を目的とする危険物であって20g以下のものを収納する場合に限り、耐水性の袋を使用することができる。この場合、耐水性の袋をプラスチック製の袋で密封し、中間容器内に収納しなければならない。外装容器は400g以上の物質を収納してはならない。水反応物質と反応する水又は液体を容器に収納してはならない。		

P404

内装容器の種類	内装容器の許容容量又は許容質量	外装容器の種類	外装容器の許容容量又は許容質量
金属製容器	15 kg	1A1、1A2、1B1、1B2、1N1、1N2、1H1、1H2、1D、4A、4B、4N、4C1、4C2、4D、4F又は4H2	400kg
1A1、1A2、1B1、1N1、1N2、3A1、3A2、3B1、3B2、6HA1又は6HB1			150kg（総質量）
IMDGコード4.1.4.1の「P200」に規定されている高圧容器又は規則第8条第3項第3号に規定する高圧容器であつて、IMDGコード4.1.3.6の要件に適合するもの（火薬類、熱的不安定物質、有機過酸化物、自己反応性物質、化学反応により圧力が発生する物質及び放射性物質を除く危険物を収納する場合に限る。）			
注　1　組合せ容器を使用する場合は、内装容器はネジ式閉鎖具付きのものとし、かつ、気密に密封しなければならない。 2　追加規定の欄に掲げる記号の意義は、次に定めるとおりとする。 PP31　国連番号が1383、1854、1855、2008、2441、2545、2546、2846、2881及び3200の危険物に関して、容器は気密に密封すること。 PP86　国連番号が3391及び3393の危険物に関しては、窒素による置換又は他の方法により、内部の空間から空気を除去すること。			

P405
（ⅰ）　黄リン又は白リン（水中保存又は溶液中のもの）

内装容器の種類	内装容器の許容容量又は許容質量	外装容器の種類	外装容器の許容容量又は許容質量
金属缶	15 kg	4A、4B、4N、4C1、4C2、4D又は4F	75kg
ガラス製容器	2 kg		
1A1、1A2、1B1、1B2、1N1又は1N2			400kg
3A1又は3B1			120kg
注　1　金属缶は気密に密封しなければならない。 2　ガラス製容器は十分な量の乾燥した不燃性の緩衝吸収材で包まなければならない。 3　容器は第25条の４に規定する容器等級Ⅱの危険物に係る気密性の要件に適合するものでなければならない。 4　追加規定の欄に掲げる記号の意義は、次に定めるとおりとする。 PP31　国連番号が1381の危険物に関して、容器は気密に密封すること。			

P405
（ⅱ）　黄リン　又は白リン（乾性のもの）

内装容器の種類	内装容器の許容容量又は許容質量	外装容器の種類	外装容器の許容容量又は許容質量
1A2、1B2又は1N2			400kg
注　追加規定の欄に掲げる記号の意義は、次に定めるとおりとする。 PP31　国連番号が1381の危険物に関して、容器は気密に密封すること。			

P406

内装容器の種類	内装容器の許容容量又は許容質量	外装容器の種類	外装容器の許容容量又は許容質量	
			容器等級がⅠの危険物を収納する場合	容器等級がⅡの危険物を収納する場合
適当な容器（防水性のものに限る。）	—	1D、1G、1H1、1H2、4C1、4D、4F又は4H2	125kg	400kg
		4C2	250kg	400kg
		4G	75kg	400kg
		3H1又は3H2	75kg	120kg
		4H1	40kg	60kg
1D、1G又は1H2（防水性内袋付きのもの、プラスチックフィルムで内張りされているもの又は防水性コーティングされているものに限る。）			400kg	400kg
4A、4B、4N、4C1、4C2、4D、4F、4G又は4H2（防水性内袋付きのもの、プラスチックフィルムで内張りされているもの又は防水性コーティングされているものに限る。）			禁止	400kg